

未来へ向けて
美馬市の
まちづくり



環境と調和し、安全・快適で便利なまちづくり ● 生活環境「水道部業務課」

美馬市の豊かな自然環境の中で、快適な暮らしを守るために、住宅や公園の整備、ゴミの減量化や再資源化などに取り組み衛生環境の整備、上下水道の整備などを行っています。中でも水は、命に関わる日常生活になくはならないもの。アンケート結果でも、市民の関心が高かった水道事業について取材することになりました。そこで、美馬町にある水道庁舎を訪ねました。

Q 美馬市の水道について教えてください。

A 美馬市水道部が管理しているのは、給水人口が5,001人以上の上水道と、給水人口101人から5,000人までの簡易水道です。平成17年3月31日現在で言うと、美馬市の水道普及率は96.4%です。

Q 水道事業と
いうのは、どんな
仕事をするので
すか？

A 水道事業は、
毎日の市民生活
を支えています。

水道事業は、なによりも安全で良質な水を安定供給するためにあります。そのために、水道事業の基本計画を立て、水道施設の建設や維持管理、水質管理を行っています。また、使用水量の点検、水道料金の徴収、給水の開始や廃止などの仕事をしています。

Q 特に力を入れている事業があれば教えてください。

A さまざまな施設の老朽化が進んできています。そこで、ステンレス製に変えるなどの配水池の改築や配水管改良事業に取り組んでいます。また、災害時の耐震対策などに取り組み、耐震性のある施設を整え、いざというときにも市民の飲



グリーンセンター美馬



美馬市西部別所簡易水道西部低区配水池

Column <コラム>

NPO法人美馬体験交流の会



理事長 田中 義美さん

美馬町の活性化を願って結成された「美馬未来塾」の活動部隊という形で、平成17年6月に発足しました。地元産業の発展を願い、吉野川やオートキャンプ場「四国三郎の郷」などを舞台に、さまざまな活動を行っています。その一つが、子どもたちの体験学習。また、四国三郎の郷サマーフェスティバルでは「流しそうめん」の世界記録を達成しました。



み水を守るために、耐震貯水槽などの設置を進めてまいります。
例えば一人の人が生きて行くために必要な最低の水量、1日2〜3ℓを、災害時にも安全に飲料水を供給できる施設の計画を進めています。

「特派員コメント」

美しい川に恵まれた美馬市ですが、飲み水を確保するのは大変なことだと分かりました。毎日、何気なく使っている水ですが、本当に大切にしようと思います。また、美しい自然を守るために、少しでも汚れた水を流さないようにし、下水道事業にも関心を持たなければと思います。